

平成28年 3月15日

各学生団体代表
各学寮委員長

学生生活支援審議会
学生生活専門委員会

新歓行事等における飲酒事故及び迷惑行為の防止について

例年3月末から4月にかけては、サークルや寮の新歓行事やコンパ等により飲酒の機会が増える時期です。特に、飲酒の強要（アルコールハラスメント）や一気飲みなどによる過度の飲酒で大学生が急性アルコール中毒に陥ったり、時には死亡に至るニュースが報じられています。

本学においては、これまで一部の学寮やスポーツ系サークルの慰労会において過度の飲酒がもとで急性アルコール中毒に陥り、救急車で搬送されるという事故がありました。

本来は楽しいはずの新歓行事やコンパ等が、過度の飲酒で取り返しのつかない事態を招く可能性があります。飲酒の強要は、本学の懲戒処分の対象になるのみならず、刑事や民事の訴訟対象となる行為です。

各サークルの代表者、各学寮の委員長にあつては、以下の点を十分に認識するとともに、添付の「飲酒時における注意事項」を活用の上、サークル員や寮生の皆さんへの注意、指導をしてください。

- 未成年者の飲酒は、明白な違法行為であり、絶対にさせないこと。
- 飲酒の強要（アルコールハラスメント）や一気飲みは、絶対にさせないこと。
- お酒の弱い人や飲めない人には、断る勇気を持つよう指導すること。
- いざというときは、ためらわずに救急車を呼ぶこと。

また、この時期は、学寮や課外活動、合宿所等から発する騒音により非常に迷惑しているとの苦情が近隣住民から寄せられています。近隣へ迷惑をかけないことは、社会生活を営む上で基本的なことであり、寮生やサークル員の皆さんは良識のある行動を取るよう、飲酒同様に注意、指導をしてください。

- 飲酒時に限らず、周囲や近隣への騒音による迷惑行為は起こさないこと。

飲酒時における注意事項

- 未成年者は飲酒しない、未成年者に飲酒させない。
未成年者の飲酒を傍観しない。

心の問題だけでなく、脳、肝臓、生殖器などにも大きなダメージを与えるので、未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

未成年者の飲酒を知っていて制止しなかった成年者は、罪に問われる場合があります。

- 飲酒強要（アルハラ）や一気飲みはしない、させない。

強要したり、はやしたてただけでも、刑事・民事責任を問われることがあります。急性アルコール中毒で死亡した場合、傷害致死罪等に問われる場合があります。ひとりひとりの飲酒するペースを尊重してください。



酔いつぶれたひとが出たなら、

- 絶対にひとりにしないで、責任を持って介抱する。
- トイレに行く時もひとりにしないで付き添う。
- 帰宅する時は、ひとりで帰さず送り届ける。
- 衣服を緩めて楽にする。
- 体温の低下を防ぐため、毛布等をかけて暖かくする。
- 吐物による窒息を防ぐため、横向きに寝かせる。
- 吐きそうなときは、横向きの状態で吐かせる。

抱き起こして、無理に吐かせると、吐いたものが逆流してノドに詰まり、窒息することもあります。横向きにすると、吐物が自然に口から出て、窒息を防ぐことができます。



こんなときは迷わず救急車を呼ぶ

- 体温が低下して全身が冷たい。
- 名前を呼んだり、身体をゆすっても反応しない。
- 息苦しそうにしている。
- 大いびきをかいている。
- 口からあわをふいたり、大量の血を吐いた。

名前を呼んだり、身体を揺すっても反応のないときは、こん睡状態で、「死」と紙一重の状態にあります。わずかなためらいで、助かる命も助からなくなってしまうかもしれません。体面を気にせず、すぐに救急車を呼んでください。

なお、本学学生の場合は、優先的に大学病院で受け入れてもらえます。学生証を携帯し、救急隊員に大学病院への搬送をお願いしてください。



Warning on alcohol consumption

-Do not drink alcohol if you are underage (the drinking age is 20 in Japan), or provide alcohol to minors.

Do not allow minors to drink around you.

In addition to mental health problems, alcohol consumption by minors can damage the brain and liver and lead to sexual dysfunction. It is therefore prohibited under Japanese law.

Adults who fail to prevent someone they know to be underage from drinking alcohol may be charged with a crime.

-Do not participate in or allow forced drinking (alcohol-related harassment) or *ikki nomi* (drinking very fast).

Coercing, or even just encouraging, others to drink could result in

criminal or civil charges being filed against you. If you are involved in a death related to alcohol poisoning, you could be charged with manslaughter. Respect the right of others to moderate their own drinking pace.



If you find a drunk, passed-out person:

- Do not, under any circumstances, leave them alone. Please be responsible and make sure they receive care.**
- Do not leave the person alone, even if they need to use the toilet. Accompany them.**
- When the person returns home, do not allow them to go alone.**
- Loosen clothing to make them comfortable.**
- Cover them with a blanket to keep them warm.**
- Turn them on their side to prevent asphyxiation in the event that they vomit.**
- If they vomit, allow them to do so while lying on their side.**



If you attempt to drag them into an upright position, the vomit can become lodged in the esophagus causing asphyxiation. Allow them to remain on their side so that the vomit will naturally exit the mouth, preventing asphyxiation.

Call an ambulance immediately if:

- The person's temperature has dropped and their whole body is cold to the touch.**
- The person does not respond, even if you call their name or shake them.**
- They appear to be having trouble breathing.**
- They are snoring very loudly.**
- Foam or a large amount of blood is coming from their mouth.**

If they do not respond, even if you call their name or shake them, they may be comatose and in danger of dying. Any hesitation in getting medical attention could result in their death. Call an ambulance immediately.

Ambulances preferentially take Tohoku University students to Tohoku University Hospital.

Bring your student ID card, and ask the emergency medical team to take you and the ill person to Tohoku University Hospital.

